

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・数学	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	73 単位時間
年間指導目標	国語	(知)日常生活に必要な身近な言葉や表現に慣れ親しみながら、言葉や表現のイメージをもつ。 (思)言葉が表す事柄を受け止める力を養い、人との関わりの中で伝える。 (学)言葉がもつ良さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でやりとりしようとする。			
	数学	(知)具体的な物の数と数字を対応させて教える意識をもつ。 (思)物の長さや大きさなど、具体物を比較したり、その違いを受け取ったりする。 (学)具体物の数を数えたり、比較したりすることで、数量についての関心をもとうとする。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等			
担当教職員	教員:細貝正輝、津田直子 学校介護職員:井上智佳子				
使用教科書	五味太郎・言葉図鑑⑥くらしのことば(偕成社)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）	
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力	(主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	「物語を見たり聞いたりしよう」	7	○春に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ○物語に関連する出来事や行事を知ったり、絵本の読み聞かせをする活動。 ◆物語の読み聞かせに親しみ、聞いたり感じたりする活動に関わる。	(知)物語の中の言葉や表現に親しみ、イメージをもつ。 (思)物語に登場する人や物を意識して、見たり聞いたりする。 (主)積極的に物語を見たり聞いたりすることができる。	
	5	「物語を見たり聞いたりしよう」	7	○こいのぼりに関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ○物語に関連する出来事や行事を知ったり、絵本の読み聞かせをする活動。 ◆物語の読み聞かせに親しみ、聞いたり感じたりする活動に関わる。	(知)物語の中の言葉や表現に親しみ、イメージをもつ。 (思)物語に登場する人や物を意識して、見たり聞いたりする。 (主)積極的に物語を見たり聞いたりすることができる。	
	6	「いろいろな物の数を数えよう」	8	○数字とマッチングさせて数える。 ○郵便屋に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆物語の読み聞かせに親しみ、数を数える活動に関わる。	(知)具体物の数と数字を意識しながら、数える。 (思)具体物を数字の書いてある容器に入れることができる。 (主)自分から具体物を持ちたり容器に入れたりする。	
	7	「いろいろな物の数を数えよう」	5	○数字とマッチングさせて数える。 ○海に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆物語の読み聞かせに親しみ、数を数える活動に関わる。	(知)具体物の数と数字を意識しながら、数える。 (思)具体物を数字の書いてある容器に入れることができる。 (主)自分から具体物を持ちたり容器に入れたりする。	
二 学 期	9	「物語の登場人物になろう」	6	○七つの子の物語の再現活動。 ○昔話に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆物語の読み聞かせに親しみ、数を数える活動に関わる。	(知)物語の登場人物に注意を向けて、雰囲気をつかえる。 (思)再現活動では、お話の世界観に親しむことができる。 (主)登場人物や場面に興味をもち、物語を見たり聞いたりしようとする。	
	10 前半	「物語の登場人物になろう」	4	○一休さんの物語の再現活動。 ○昔話に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆左右の概念を理解する。	(知)物語の登場人物に注意を向けて、雰囲気をつかえる。 (思)再現活動では、お話の世界観に親しむことができる。 (主)登場人物や場面に興味をもち、物語を見たり聞いたりしようとする。	

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
二 学 期	10 後 半	「物語の登場人物になろう」	4	○金太郎の物語の再現活動。 ○昔話に関連した内容について見たり、聞いたり、触れたりする。 ◆力の強弱を理解する。	(知)物語の登場人物に注意を向けて、雰囲気をつ捉える。 (思)再現活動では、お話の世界観に親しむことができる。 (主)登場人物や場面に興味をもち、物語を見たり聞いたりしようとする。
	11	「比べてみよう(大きい小さい、長い短い、重い軽い)」	6	○親指姫の物語の再現活動。 ○2つの物を見たり触ったりして比べる。 ◆大小を理解する。	(知)2つの物を対比させる基準(大きさ・長さ・重さ等)を意識することができる。 (思)2つの物の違いを意識して比べることができる。 (主)2つの物を比べて、その違いを捉えようとしている。
	12	「比べてみよう(大きい小さい、長い短い、重い軽い)」	8	○舌切り雀の物語の再現活動。 ○2つの物を見たり触ったりして比べる。 ◆重さを理解する。	(知)2つの物を対比させる基準(大きさ・長さ・重さ等)を意識することができる。 (思)2つの物の違いを意識して比べることができる。 (主)2つの物を比べて、その違いを捉えようとしている。
三 学 期	1	「文字や図形を書いてみよう」	6	○書初め ○筆で日本の文字や図形を書く。 ◆筆を使って文字を書くことに親しみ、日本の文字の形や図形の表現に気付くことができる。	(知)季節の言葉や日本文化に関する語句に触れ、意味を理解しようとする。 (思)文字の配置や大きさを体感しながら、筆を動かす活動に取り組むことができる。 (主)日本文化の雰囲気に興味を持つ様子が見られる。
	2	「好きな本を選ぼう」	6	○図書室や図書コーナーに行って、本を見比べて、自分の好きな本を選んで読む。 ○公共の場でのルールやマナーを学ぶ。 ◆図書室の利用に親しみ、本を見たり選んだりする活動に関わる。	(知)自分の好みの本に視線を向けたり手に取ったりする。 (思)自分の読みたい本を選んで、伝えることができる。 (主)自分の好きな本を選び取ろうとする。
	3	「お店屋さんになろう」	6	○買い物の疑似体験。 ◆言われたものを選んだり、個数を数える活動に関わる。	(知)言われた物と個数を正しく選ぶことができる。 (思)言われた物と個数をお客役に渡すことができる。 (主)相手を見て手に渡そうとする。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を用いて、見たり触ったりしながら、実感して学習できるように配慮する。</li> <li>・生徒の気持ちを教員が受け取ったりやりとりをしたり、生徒の気持ちを出しやすい雰囲気をつくる。</li> </ul>		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)音楽表現を楽しむ事ができる。				
	(思)音や音楽に気づきながら関心や興味を広げる。				
年間指導目標	(学)音楽経験を生かして生活を楽しいものにしてしている。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:津田直子 細貝正輝 学校介護職員:井上智佳子				
使用教科書	クラス合唱曲MY SONG6訂版(教育芸術社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 り組む態度	(主) 主体的に学習に取
一 学 期	4	楽器を演奏しよう①	6	○器楽(琴・鈴) ○音楽鑑賞 ◆琴や鈴に触れ、音を出す楽しさを感じる。 ◆様々な音楽を聴き、音色や曲想に親しむ。	(知) 琴や鈴の扱い方を理解し、支援を受けながら音を鳴らすことができる。 (思) 音色や曲想を感じ取り、強弱や身体の動きで演奏に表現を加えることができる。 (主) 器楽や鑑賞に興味・関心をもち、友人と音楽を楽しみながら活動できる。	
	5		6	○器楽(琴・鈴) ○音楽鑑賞 ◆琴や鈴に触れ、音を出す楽しさを感じる。 ◆様々な音楽を聴き、音色や曲想に親しむ。	(知) 琴や鈴の扱い方を理解し、音やリズムを表現できる。 (思) 音色や曲想を感じ取り、強弱や身体の動きで演奏に表現を加えることができる。 (主) 器楽や鑑賞に興味・関心をもち、友人と音楽を楽しみながら活動できる。	
	6	楽器を演奏しよう②	8	○器楽(ウクレレ・タンブリン) 音楽鑑賞 ◆ウクレレやタンブリンに触れ、異国の音楽やリズムに親しむ。 ◆楽器を使ってリズムを刻む楽しさを味わう。	(知) ウクレレやタンブリンの特徴を知り、教師の支援を受けながら楽器を演奏することができる。 (思) 異国の楽しい音色や曲想を感じ取り、リズムや身体の動きで表現できる。 (主) 異国のリズムに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。	
	7		4	○器楽(ウクレレ・タンブリン) ○音楽鑑賞 ◆ウクレレやタンブリンに触れ、異国の音楽やリズムに親しむ。 ◆楽器を使ってリズムを刻む楽しさを味わう。	(知) ウクレレやタンブリンの特徴を知り、教師の支援を受けながら楽器を演奏することができる。 (思) 異国の楽しい音色や曲想を感じ取り、リズムや身体の動きで表現できる。 (主) 異国のリズムに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。	
二 学 期	9	音楽に合わせて体を動かそう①	8	○ダンス ○音楽鑑賞 ◆音楽に合わせて体を動かす楽しさを感じる。 ◆曲のリズムやテンポを感じ取り、自分なりの動きで表現する。	(知) 曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。	
	10 前半		4	○ダンス ○音楽鑑賞 ◆音楽に合わせて体を動かす楽しさを感じる。 ◆曲のリズムやテンポを感じ取り、自分なりの動きで表現する。	(知) 曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。	

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
二 学 期	10 後 半	音楽に合わせて体を動か そう①	4	○ダンス ○音楽鑑賞 ◆音楽に合わせて体を動かす楽しさを感じる。 ◆曲のリズムやテンポを感じ取り、自分なりの動きで表現する。	(知)曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思)曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主)ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
	11	音楽に合わせて体を動か そう②	4	○ダンス ○音楽鑑賞 ◆友達と一緒にダンスを楽しみ、協調する喜びを感じる。 ◆曲の雰囲気を感知取り、表情や動きで自分を表現する。	(知)曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思)曲の雰囲気を感知取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主)ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
	12		8	○ダンス ○音楽鑑賞 ◆友達と一緒にダンスを楽しみ、協調する喜びを感じる。 ◆曲の雰囲気を感知取り、表情や動きで自分を表現する。	(知)曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思)曲の雰囲気を感知取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主)ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
三 学 期	1	リズムを楽しもう 手話歌をやってみよう	6	○器楽(ボンゴ・コンガ) ○手話歌 ◆ボンゴやコンガを叩き、自分なりのリズムを楽しむ。 ◆手話歌を通して、歌詞の意味を感じながら表現する。	(知)ボンゴやコンガの奏法を知り、自分なりのリズムを打つことができる。 (思)異国の曲の雰囲気を感知取り、自分なりのリズムで曲を楽しむことができる。 (主)器楽や手話歌に興味・関心をもち、友人の楽しみながら参加することができる。
	2		6	○器楽(ボンゴ・コンガ) ○手話歌 ◆ボンゴやコンガを叩き、自分なりのリズムを楽しむ。 ◆手話歌を通して、歌詞の意味を感じながら表現する。	(知)ボンゴやコンガの奏法を知り、自分なりのリズムを打つことができる。 (思)異国の曲の雰囲気を感知取り、自分なりのリズムで曲を楽しむことができる。 (主)器楽や手話歌に興味・関心をもち、友人の楽しみながら参加することができる。
	3		8	○器楽(ボンゴ・コンガ) ○手話歌 ◆ボンゴやコンガを叩き、自分なりのリズムを楽しむ。 ◆手話歌を通して、歌詞の意味を感じながら表現する。	(知)ボンゴやコンガの奏法を知り、自分なりのリズムを打つことができる。 (思)異国の曲の雰囲気を感知取り、自分なりのリズムで曲を楽しむことができる。 (主)器楽や手話歌に興味・関心をもち、友人の楽しみながら参加することができる。
そ の 他	通 年	・はじまりとおわりの歌を歌 おう ・発声練習をしよう ・季節の歌を歌おう	○はじまりの歌・おわりの歌○発声練習○季節の歌の歌唱・鑑賞 ◆毎時間の歌を通して、授業の始まりと終わりを意識する、発声練習で声を出す楽しさを感じる。 ◆季節の歌を通して、四季の移り変わりを感じ取る。	(知)発声練習を通して、自分なりの発声の仕方を身に付け、歌唱に生かすことができる。 (思)季節の歌の雰囲気を感知取り、自分なりの声や身体表現で表すことができる。 (主)毎時間の歌や鑑賞に親しみ、意欲的に音楽活動に参加することができる。	
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態に合わせた教材を使用し、見直しをもてるようにする。</li> <li>・視覚的な手本や手順表を活用し、活動の流れを理解しやすくする。</li> <li>・個々の表現方法を尊重し、達成感を味わえるよう支援する。</li> <li>・安全面に配慮しながら、楽器や道具に触れる機会を確保する。</li> </ul>		

令和 年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	美術	グループ名	Aグループ	年間授業時数	70 単位時間
年間指導目標	(知)色や形の違いなど造形的な見方を知り、材料や用具を使って表す。				
	(思)色や形など造形的な良さや美しさを感じ取りながら、自分なりのイメージをもち、表現力を高める。				
担当教職員	(学)美術の創造活動の楽しさや喜びを味わい、進んで活動に取り組む。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
使用教科書	子どもの個性を引き出す きむら式 おもしろ造形タイム(チャイルド本社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	【絵画】 植物を描く 季節の作品(春)		○水性絵の具を使って描く。 ○さまざまな素材や道具を使って描く。 (筆やスタンプ、ローラーなどを使って) ◆絵の具を手で直に触った感触や描く感覚(腕を伸ばす感覚)を感じながら制作する。 ◆絵の具の匂いなどを五感で味わいながら制作する。	(知)絵の具の色や造形の変化に気付き、多彩な表し方で変化させようとする。 (思)手本や友達の作品を見て、自分なりのイメージで表現しようとする。 (主)筆やスタンプ等の多彩な道具に自発的に触れ、制作しようとする。
	5	【絵画】 植物を描く			
	6	【絵画】 回転版画で表そう		○版画の作り方を知り、制作する。 ◆紙を重ねてこすることによって色が移る因果関係に気付きながら制作する。 ◆材料の感触を感じ、自分から腕や手を動かすことによって版作りや、刷りを行う。	(知)材料や用具を使って表す。 (思)材料などを見たり触ったりしたときの素直な驚きや喜びを大切に、意欲や関心をもてるようにする。 (学)意欲的に版画制作に取り組み、楽しもうとする。
二学期	7				
	9	【立体】 ランプシェードを作ろう		○和紙をちぎったり、貼ったりしてランプシェードを作る。 ◆好きな色のセロハン等を選んで、自分なりのイメージをもって制作する。 ◆手で和紙をちぎったり、貼ったりして和紙の感触を感じ取りながら制作する。	(知)材料や用具などを使って表そうとする。 (思)材料などに働きかけて感じた形や色、自分のイメージなどから造形的な活動を思い付く。 (学)創造活動を楽しみ、進んで活動する。
	10前半				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標（評価の観点）	
一 学 期	10 後 半	【共同制作】 虹輝祭を盛り上げよう		○筆やスタンプ、ローラーなどを使って舞台上で使う装飾や背景、ポスターの制作 ◆舞台上で使う装飾の制作を通して、虹輝祭に向けて気持ちを高める。	(知) 道具や用具を使い、表現に活かせる。 (思) 作るものに適した色などを考えて制作する。 (主) 集団で一つのものを作成する達成感を味わう。	
	11	【映像メディア】 動く模様		○デジタル機器を使い、線や形が動く映像を作る。 ◆デジタル機器を自分なりに操作して、線や形が動くおもしろさに気付きながら制作する。	(知) 映像に興味をもち、描いた線や形が動く面白さや美しさに気付く。 (思) デジタル機器で線や形を描くことに慣れ、形や色を選んで表す。 (主) 進んで映像に視線を向けたり、手や腕をよく動かしたりして制作しようとする。	
	12	【映像メディア】 動く模様				
三 学 期	1	【絵画】 刷って重ねて		○版を使い、刷り重ねて絵やバッグを作る。 ◆ 材料の感触を感じ、自分から腕や手を動かすことによって版作りや、刷り重ねながら絵やバッグを制作を行う。	(知) 材料や用具によって現れる形が違うことに気付く。 (思) 好きな色や使ってみたい材料や用具を自ら選んで制作をする。 (主) 版を刷り重ねることで変化する形や色に興味をもち、進んで活動する。	
	2					
	3					
そ の 他	通 年	手指の体操		制作の前には身体の緊張をほぐし、手指を動かしやすい手指の体操を取り入れ、学習する姿勢を作る。		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・描画の際は生徒の実態に応じて個別に支援具を使用する。・制作の前には身体の緊張をほぐす体操を取り入れ学習する姿勢を作る。・順次、同じテーマで少しずつ要素を変えていき、生徒が主体的にできることを増やす。・音や触覚などの感覚刺激を適宜取り入れ、制作への意欲を喚起するとともに、美術への関心を深める。・実態に合わせて、扱いやすい道具や画材を考慮しながら制作する。		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	74 単位時間
年間指導目標	(知)健康の保持増進と体力の向上を図り、身体を動かす。				
	(思)運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動機能の維持、向上を目指す。				
	(学)協力や責任などの態度を育て、簡単なゲーム等のルールを理解する。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:細貝正輝、津田直子 学校介護職員:井上智佳子				
使用教科書	イラスト版からだのつかい方・ととのえ方 子どもとマスターする45の操体法(合同出版)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）		
					(知) 知識・技能	(思) 思考力・判断力・表現力 り組む態度	(主) 主体的に学習に取
一 学 期	4	陸上競技(体育発表会に向けて)	6	○課題走やゲーム(体育発表の練習) ◆個々の課題を達成する。 ◆スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 ◆スタートとゴールを意識し完走する。	(知) 課題に応じた身体の動かし方を知る。 (思) スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 (主) 教師や級友とのやり取りを楽しみながら達成感を味わったりする。		
	5	陸上競技(体育発表会に向けて)	8	○課題走やゲーム(体育発表の練習) ◆個々の課題を達成する。 ◆スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 ◆スタートとゴールを意識し完走する。	(知) 課題に応じた身体の動かし方を知る。 (思) スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 (主) 教師や級友とのやり取りを楽しみながら達成感を味わったりする。		
	6	水泳	8	○水慣れや浮遊、背浮き ◆水中で身体の緊張を緩める。	(知)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付けることができる。 (思)水泳についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)水泳の多様な経験を通して、自主的に運動をする。		
	7	水泳	4	○水慣れや浮遊、背浮き ◆水中で身体の緊張を緩める。	(知)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付けることができる。 (思)水泳についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)水泳の多様な経験を通して、自主的に運動をする。		
二 学 期	9	水泳 球技(ボッチャ)	7	○水慣れや浮遊、背浮き ○ボッチャ ◆水中で身体の緊張を緩める。 ◆ボールに触れ、手や腕を動かしボールが動く様子を感じながら活動する。	(知)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付けることができる。 (思)水泳についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)水泳の多様な経験を通して、自主的に運動をする。		
	10 前半	球技(ボッチャ) 武道(柔道)	4	○ボッチャ。 ○柔道 ◆ボールに触れ、手や腕を動かしボールが動く様子を感じながら活動する。 ◆柔道着を着用して、柔道を体験する。	(知)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思)球技についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)球技の多様な経験を通して、自主的に運動をする。		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	武道(柔道)	4	○柔道 ◆柔道着を着用して、柔道を体験する。	(知)武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いることができる。 (思)武道についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)武道の多様な経験を通して、自主的に運動をする。
	11	武道(柔道) 球技(ティーボール)	8	○柔道 ○ティーボール(打撃練習、試合) ◆柔道着を着用して、柔道を体験する。 ◆バッドを使って、ボールを打つ。	(知)武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いることができる。 (思)武道についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)武道の多様な経験を通して、自主的に運動をする。
	12	球技(ティーボール)	6	○ティーボール(打撃練習、試合) ◆バッドを使って、ボールを打つ。	(知)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思)球技についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)球技の多様な経験を通して、自主的に運動をする。
三 学 期	1	球技(ハンドサッカー)	5	○ハンドサッカー ◆個々の課題を達成し、ゴールすることができる。	(知)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思)球技についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)球技の多様な経験を通して、自主的に運動をする。
	2	球技(ハンドサッカー)	8	○ハンドサッカー ◆個々の課題を達成し、ゴールすることができる。	(知)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思)球技についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)球技の多様な経験を通して、自主的に運動をする。
	3	球技(ハンドサッカー)	6	○ハンドサッカー ◆個々の課題を達成し、ゴールすることができる。	(知)球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思)球技についての自身の課題を発見し、その解決のための方策を工夫することができる。 (主)球技の多様な経験を通して、自主的に運動をする。
そ の 他		準備体操	○整備体操 ○単元ごとに身体をほぐす。		
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の実態に合った教材を準備する。</li> <li>・個々に合わせて適切に課題を設定する。</li> <li>・健康状態に合わせ活動時間を設定し、活動中の疲労や体調変化に注意する。</li> <li>・安全管理を徹底する。</li> </ul>		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	
教科等名	特別活動	グループ名		年間授業時数	37 単位時間
年間指導目標	(知)友達や教職員との関わりの中で、コミュニケーションの基本を身に付ける。				
	(思)仲間と協力しながら、自分の役割を考えて行動する。				
	(学)活動に積極的に参加し、最後までやり遂げる力を身に付ける。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:熊谷賢二 後藤理沙 細貝正輝 津田直子 学校介護職員:井上智佳子 中山潤				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	高等部のスタート	3	1年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係活動決め等 ◆共に学ぶ仲間や1年間の活動を知り見通しをもつ。	(知) 新しい教職員や友達の名前を覚える。 (思) 自己紹介で自分を表現する。 (主) 新しい教職員や友達に興味をもち、進んで関わる。
	5	仲間と一緒に活動しよう	3	○レクリエーション活動(個人戦) ◆友達と一緒に積極的に活動に取り組む。	(知) レクリエーションの内容を理解する。 (思) 友達が頑張っている姿を見て、応援をする。 (主) レクリエーション活動に積極的に参加する。
	6	仲間と協力して活動しよう	3	○レクリエーション活動(チーム対抗戦) ◆友達と協力して活動することができる。	(知) チームでの活動を理解する。 (思) 役割分担や作戦について話し合い、決定する。 (主) 仲間と協力して活動する喜びを感じる。
	7	移動教室に向けて	3	○移動教室に向けた準備 ◆宿泊先や見学先、日程を知り、自分に合った係を選ぶことができる。	(知) 宿泊先や見学先、行程を知る。 (思) 自分に合った役割を考え、係の仕事を選ぶ。 (主) 移動教室に興味をもち、意欲的に準備に取り組む。
二学期	9	移動教室を振り返ろう	3	○移動教室の振り返り ◆移動教室での活動を思い出しながら、ポスターを制作し、楽しかったことや頑張ったことを発表することができる。	(知) 自分の行った活動を思い出すことができる。 (思) 楽しかったことや頑張ったことを発表する。 (主) 興味をもってポスターを制作したり、発表したりする。
	10 前半	仲間と一緒に活動しよう	3	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知) 友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思) 自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主) 友達と一緒に活動することを楽しむ。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	仲間と一緒に活動しよう	7	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知) 友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思) 自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主) 友達と一緒に活動することを楽しむ。
	11				
	12	学期のまとめ	3	○2学期の振り返り ◆2学期の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。	(知) 2学期に行った活動を思い出す。 (思) シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
三 学 期	1	仲間と一緒に活動しよう	6	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知) 友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思) 自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主) 友達と一緒に活動することを楽しむ。
	2				
	3	1年間のまとめ	4	○一年間の振り返り ◆一年間の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。次年度への期待感を高めていく。	(知) 一年間の活動を思い出す。 (思) シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の友達や教職員を意識できるように、適宜、集団での活動を設定する。</li> <li>・事前学習や振り返り、まとめの際は、写真等を使い、視覚化する。</li> <li>・まとめや振り返り際には、活動をまとめたポスターや振り返りシートを基に、一人一人発表する場面を設定する。</li> </ul>		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	443 単位時間
年間指導目標	(知)健康を保持し、基本的な生活習慣を形成し、元気に学習を続けることのできる基礎的体力をつける。				
	(思)教員との一対一のかかわりを深める中で、心理的安定を図り、コミュニケーション能力を高める。				
担当教職員	(学)身近な処理に関する動作や学習のための動作を身に付ける。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	個に応じた課題の取り組み 健康の保持 身近な処理 からだの取り組み コミュニケーション	37.2	○衣服の調節 ◆衣服の着脱等を実態に応じて行うことができる。 ○水分補給 ◆適切に水部を摂取する方法を身に付けることができる。 ○リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆ストレッチや姿勢変換を通して筋緊張を緩和する。 ○排痰の取り組み ◆うつ伏せ姿勢や加湿等を実施して ○歩行（介助歩行） ◆適切な歩行方法で歩行することができる。 ○立位（立位台等の利用） ◆姿勢を保持し、筋力の向上を図ることができる。 ○コミュニケーション活動 ◆それぞれの方法でコミュニケーションを図ることができる。 ○教具等の操作練習 ◆教具等を操作し手指の操作性と目と手の協応性を高める。	(知)衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて、自分のできる範囲で行うことができる。 (知)適切な水分を摂取する方法を身に付けることができる。 コップの準備や後片付けなどに取り組むことができる。 (思)姿勢変換や身体のストレッチを通して、緊張を緩和し関節の変形や拘縮の予防を図ることができる。 (知)加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰の排出を促し、健康の保持に繋げることができる。 (知)適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図ることができる。 (知)姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図ることができる。 (思)個に応じたコミュニケーション手段が図れるようになる。 (知)手指の操作性や目と手の協応性を高めることができる。
	5		40.9		
	6		51.5		
	7		28.8		
二学期	9	個別課題 (通年)	38.4		
	10前半		42.5		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	個に応じた課題の取 組み  健康の保持  身近処理	43	○衣服の調節 ◆衣服の着脱等を実態に応じて行うことができる。 ○水分補給 ◆適切に水部を摂取する方法を身に付けることができる。	(知)衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて、自 分のできる範囲で行うことができる。 (知)適切な水分を摂取する方法を身に付けることができ る。
	11		45.5	○リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆ストレッチや姿勢変換を通して筋緊張を緩和する。 ○排痰の取り組み ◆うつ伏せ姿勢や加湿等を実施して	コップの準備や後片付けなどに取り組むことができる。 (思)姿勢変換や身体ストレッチを通して、緊張を緩和し関 節の変形や拘縮の予防を図ることができる。 (知)加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰 の排出を促し、健康の保持に繋げることができる。
	12		42.8	○歩行(介助歩行) ◆適切な歩行方法で歩行することができる。 ○立位(立位台等の利用) ◆姿勢を保持し、筋力の向上を図ることができる。	(知)適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図ること ができる。 (知)姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図ること ができる。
三 学 期	1	からだの取り組み コミュニケーション	30.8	○コミュニケーション活動 ◆それぞれの方法でコミュニケーションを図ることができ る。 ○教具等の操作練習 ◆教具等を操作し手指の操作性と目と手の協応性を高め る。	(思)個に応じたコミュニケーション手段が図れるようになる。 (知)手指の操作性や目と手の協応性を高めることができる。
	2	個別課題 (通年)	43.5		
	3		37.8		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の体調を、十分に把握して、日々の指導を行う。</li> <li>・必要に応じて、検温や聴診など保健室と連携して、丁寧に健康観察を行う。</li> <li>・季節によって、加湿器等を使用して取り組む。</li> <li>・生徒の実態に応じて、課題を段階的に設定する。</li> </ul>	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	188 単位時間
年間指導目標	(知)安定した姿勢をとり、リラックスして食事をする。				
	(思)教員の働きかけに協力し、健康の促進に努める。				
担当教職員	(学)友達を意識して活動に取り組む。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	個に応じた取り組みを行う。 排せつ指導 摂食指導 (通年)	16	○おむつ替え時の協力動作(腰を上げる、足を動かすなど)の練習。 排泄のサインを伝える練習 トイレでの正しい姿勢の維持 排泄リズムの記録と把握	(知) 場面に応じた挨拶の言葉やタイミングを理解する。 (思) 周囲の様子を見て、どの挨拶をすればよいか判断する。 (主) 自分から挨拶をしようと、場に合わせて取り組む。
	5		18	◆おむつ替えの際協力動作をできるようにする。 排泄のリズムの確立を図る。 個々の生徒に合わせた排泄指導を行う	(知) 水分が必要な理由や飲むタイミングを理解する。 (思) 一定量の水分摂取ができる。 (主) 言葉掛けやスケジュールを手がかりに、自ら水分摂取に取り組もうとする。
	6		21	○安定した姿勢での食事姿勢の確保 給食前の身体ほぐし・呼吸を整える活動 口唇・舌の動かし方の練習 一口量の調整と咀嚼・嚥下の練習 水分摂取時の姿勢と飲み込みの練習	(知) 安全に食べるための姿勢・動作や、食品の特徴を理解して適切に摂食する。 (思) 自分に合った食べ方や介助の受け方を選ぶ。 (主) 食べる活動に安心して参加し、意欲的に取り組む。
	7		12	◆安定した姿勢、呼吸状態で安全に水分の摂取や食事を行うことができるようになる。 安全に食事を行うために、給食前に身体の取り組みを行う。 口唇の動かし方など、適切な食事に関する動作を身に付ける。 ○歯ブラシやガーゼでの口腔清掃の練習 手洗い・清潔保持の習慣化 ◆衛生管理に気を付け、安全に注入を行う。	(知) 排せつのタイミングや方法、使う場所や手順を理解する。 (思) おむつ替えや着替えをすることを理解し、協力動作する。 (主) 言葉掛けや合図を手がかりに、落ち着いて排せつ行動に取り組もうとする。
二学期	9		16	食後の衛生管理(歯磨きなど)をしっかりと行い、口腔衛生を保てるようになる。 介助者による歯磨きを受け入れられるようになる。	(思) 係の内容や役割、行う手順を理解する。 (技) 状況に合わせて、係の仕事をどのように進めるか判断する (主) 自分の係に主体的に取り組む、最後までやり遂げる。
	10前半		20		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	個に応じた取り組みを行う 排泄指導 摂食指導 (通年)	19	○おむつ替え時の協力動作(腰を上げる、足を動かすなど)の練習。 排泄のサインを伝える練習 トイレでの正しい姿勢の維持 排泄リズムの記録と把握	(知) 場面に応じた挨拶の言葉やタイミングを理解する。 (思) 周囲の様子を見て、どの挨拶をすればよいか判断する。 (主) 自分から挨拶をしようと、場に合わせて取り組む。
	11		18	◆おむつ替えの際協力動作をできるようにする。 排泄のリズムの確立を図る。	(知) 水分が必要な理由や飲むタイミングを理解する。 (思) 一定量の水分摂取ができる。 (主) 言葉掛けやスケジュールを手がかりに、自ら水分摂取に取り組もうとする。
	12		13	個々の生徒に合わせた排泄指導を行う ○安定した姿勢での食事姿勢の確保 給食前の身体ほぐし・呼吸を整える活動 口唇・舌の動かし方の練習 一口量の調整と咀嚼・嚥下の練習 水分摂取時の姿勢と飲み込みの練習	(知) 安全に食べるための姿勢・動作や、食品の特徴を理解して適切に摂食する。 (思) 自分に合った食べ方や介助の受け方を選ぶ。 (主) 食べる活動に安心して参加し、意欲的に取り組む。
二 学 期	1		18	◆安定した姿勢、呼吸状態で安全に水分の摂取や食事を行うことができるようになる。 安全に食事を行うために、給食前に身体の取り組みを行う。 口唇の動かし方など、適切な食事に関する動作を身に付ける。	(知) 排せつのタイミングや方法、使う場所や手順を理解する。 (思) おむつ替えや着替えをすることを理解し、協力動作する。 (主) 言葉掛けや合図を手がかりに、落ち着いて排せつ行動に取り組もうとする。
	2		18	○歯ブラシやガーゼでの口腔清掃の練習 手洗い・清潔保持の習慣化 ◆衛生管理に気を付け、安全に注入を行う。 食後の衛生管理(歯磨きなど)をしっかり行い、口腔衛生を保てるようになる。	(思) 係の内容や役割、行う手順を理解する。 (技) 状況に合わせて、係の仕事をどのように進めるか判断する (主) 自分の係に主体的に取り組む、最後までやり遂げる。
	3		17	介助者による歯磨きを受け入れられるようになる。	
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調を十分に把握して日々の指導を行う。</li> <li>・外部専門家による摂食診断を適宜指導に反映させる。</li> <li>・個々の生徒の実態の変化に応じた取り組みを設定する。</li> </ul>	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	117 単位時間
年間指導目標	(知)季節や行事に合わせた物作りや体験をし、季節の違いや雰囲気を理解する。 (思)活動を通して気持ちや考え方や要求を表現する。 (学)活動を通して、友達や教職員とのコミュニケーションを広げ主体的に取り組む気持ちをもつ。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:津田直子 細貝正輝 学校介護職員:井上智佳子				
使用教科書	こどもマナーとけいご絵じてん 小型版(三省堂)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	野菜や植物を育てよう	10	○屋外での栽培活動 土や植物に触れるなど自然に親しむ体験を積み重ねる。 ◆季節を感じて素材の変化に気付き意欲的に活動する。	(主)季節を感じて素材の変化に気付き意欲的に活動する。 (思)土や植物に触れる体験を通じて気付いたことを表現する。 (知)屋外での栽培活動の方法を知る。
	5	社会見学事前学習	14	○社会見学で学習する内容について見通しをもつ。 ◆季節を感じて素材の変化に気付き意欲的に活動する。	(主)社会見学に向けて見通しをもち意欲的に取り組む。 (思)学習内容について考え、期待を表現する。 (知)社会見学で学ぶ内容を理解する。
	6	フェルトボールを作ろう	13	○毛糸に触れて感触を知り、シェーカーを振る動作などを体験する。 ◆季節を感じて素材の変化に気付き意欲的に活動する。	(主)季節を感じながら意欲的に活動に取り組む。 (思)活動を通して気持ちや感想を表現する。 (知)毛糸の感触を知り、シェーカーを振る動作を体験する。
	7	野菜や植物を収穫して活用しよう	7	○収穫の喜びを感じ、自分で作った野菜の形・においなどを感じて野菜を育てる活動に親しむ。 ◆季節を感じて素材の変化に気付き意欲的に活動する。	(主)収穫の喜びを感じ意欲的に活動に取り組む。 (思)野菜の形やにおいなどを感じ気付いたことを表現する。 (知)収穫の仕方を知り、野菜の特徴を理解する。
二学期	9	英語学習 Assistant Language Teacher(ALT)との学習	8	○外国語の響きやリズムに触れる。 ◆外国語の響きやリズムなどに慣れる	(主)外国語の学習に興味をもち意欲的に参加する。 (思)外国語を聞いて感じたことを表現する。 (知)外国語の響きやリズムに触れ、慣れる。
	10前半	野菜や植物を収穫して活用しよう	7	○収穫の喜びを感じ自分で作った野菜の形、においなどを感じて親しむ。 ◆外国語の響きやリズムなどに慣れる	(主)収穫の喜びを感じ意欲的に活動する。 (思)野菜の形やにおいを感じ気付いたことを伝える。 (知)野菜の特徴を理解し、収穫の方法を知る。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	英語学習 Assistant Language Teacher(ALT)との学習	7	○英単語の響きやリズムに触れる。 ◆英単語の響きやリズムなどに慣れる。	(主)英単語の学習に興味をもち意欲的に参加する。 (思)英単語を聞いて感じたことを表現する。 (知)英単語の響きやリズムに触れ、慣れ親しむ。
	11	野菜や植物を収穫して活用しよう	12	○収穫した喜びを感じ、自分で作った野菜の形、においなどを感じて親しむ。 ◆収穫した喜びを感じ、自分で作った野菜の形、においなどを感じて親しむ。	(主)収穫の喜びを感じ意欲的に活動に取り組む。 (思)野菜の形やにおいなどを感じ気付いたことを表現する。 (知)野菜の特徴を理解し、活用の仕方を知る。
	12	観察や実験・季節の作品を作ろう	10	○季節の変化を身体で感じ、土や植物に触れたり親しんだりしながら作品作りをする。 ◆季節の変化を身体で感じ、土や植物に触れたり親しむ	(主)季節の変化を感じながら意欲的に作品作りに取り組む。 (思)土や植物に触れて感じたことを表現する。 (知)季節の変化や素材の特徴を理解する。
三 学 期	1	墨絵に親しもう	9	○墨のにおいや体を大きく動かして描く感覚を味わう。 ◆墨のにおいや体を大きく動かして書く感覚を味わう(主)	(主)墨絵の活動に興味をもち意欲的に取り組む。 (思)体を大きく動かして描く感覚を味わい表現する。 (知)墨のにおいや描く感覚を知る。
	2	バスボムを作ろう	11	○温浴活動で身体を温める。 バスボムが変化する様子に気づく。 ◆墨のにおいや体を大きく動かして書く感覚を味わう(主)	(主)温浴活動やバスボム作りに意欲的に取り組む。 (思)バスボムが変化する様子に気づき感想を表現する。 (知)身体を温める心地よさやバスボムの作り方を知る。
	3	卒業生を送ろう	9	○授業で作った作品などを卒業生にプレゼントする。 ◆墨のにおいや体を大きく動かして書く感覚を味わう(主)	(主)卒業生との関わりを意識し意欲的に活動する。 (思)卒業生への感謝の気持ちを表現する。 (知)プレゼントの渡し方や送る会の流れを知る。
そ の 他	通 年	読書活動 古新聞のリサイクル 制作活動		○様々なジャンルの本に親しみ、読書を楽しむ。古新聞を活用したリサイクル活動に取り組む。季節や行事に合わせた制作活動を行う。 ◆日常的に読書に親しみ、リサイクルの意識を高める。	(主)読書活動やリサイクル活動に興味をもち、日常的に取り組もうとする。 (思)本の内容や制作活動を通して感じたことを表現する。 (知)本の扱い方やリサイクルの方法を知り、制作の技能を身に付ける。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節や実生活を意識した多様で豊かな経験ができるようにする。</li> <li>・素材に直接触れながら、スイッチや補助具も用いて自ら活動に取り組もうとする。</li> <li>・生徒の表情、発声、発語、言葉などを丁寧に聞き取り表出で応える過程を通してコミュニケーション力を高める。</li> <li>・必要な身体介助をしながら自分でできることを増やし、達成感を味わえるようにする。</li> </ul>	